

令和4年度「構成」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
3年	美術科	美術	構成	1	必修
教科書	WARM UP!				
副教材	色彩検定3級 テキスト&問題集				

学習の目的

- 1 造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに、基礎となる技能を身に付ける。
- 2 造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力、判断力、表現力等を育成する。
- 3 造形感覚を高めようとする態度を養う。

学習の目標

I 知識・技能	構成に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようになる。
C 思考・判断・表現	構成に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考・判断・表現ができるようになる。
E 学びに向かう力・人間性等	主体的に構成に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、造形感覚を高めようとする態度を養う。

つきたい力	課題発見能力。発想や構想の能力。 制作を通して主題を追究する姿勢。 造形要素を組み合わせて作り出す力。プレゼンテーション力。
-------	--

評価方法

	I	C	E
◇ 制作途中の作品を振り返り、自己評価を行います。(Google Classroomの課題)	○	○	○
◇ 作品完成後は作品をプレゼンテーションしたり、互いに講評し合い、自身の思考の広がり、深まりを評価します。	○	○	○
◇ 完成作品や振り返りの記録(ワークシート等)を、題材に応じた観点で評価します。	○	○	○

履修上の注意および学習のアドバイス等

- ◇ 作品制作に必要な画材の準備、情報の取材は自主的に取り組むよう心がけましょう。
- ◇ 提出物は「授業の成果」になります。期限を守り、必ず提出してください。
- ◇ 制作はI・C・Eを相互に関連させ深めていく活動です。画材や技法への探究心を持って取り組んでいきましょう。
- ◇ 鑑賞では作品の良さや美しさを感じ取り、作者の個性や美術文化の良さ感受する姿勢を持って臨みましょう。
- ◇ 自分の考えを深めたり、伝えたりする活動の際は「絵」と「文字」を使って表現します。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力・人間性
第1学期	4	造形要素の理解と演習① ・ポスター、平面作品、立体作品の造形要素・構成美を捉える。	ポスター、平面作品、立体作品の造形要素・構成美を捉え、自身の制作に活かす。 造形要素を踏まえた作品の分析ができるようになる。		作品にある造形要素は？	○	○	
	5	・造形要素を踏まえた作品の分析。			造形要素の関連による印象の違いを探ろう。			○
	6	テーマ別課題① 自分のテーマに応じた課題を設定し、制作に取り組む。	・自身の主題を生成し、素材や技法を選択して、表現を追求する		・作品について(主題、素材、技法)説明してください。		○	○
	7	レイアウトを考える ～冊子の画面を構成する～	文字や写真で構成をする際に必要な知識、留意点を理解する。 目的に応じてどのような構成(情報の選択・配置)がふさわしいかを考えることができる。		・その冊子(チラシ、ホームページ)は誰に、何を伝えるためのものですか？	○	○	○
第2学期	9	造形要素の理解と演習②	造形要素・構成美を捉え、作品の分析ができるようになる。 作品展示やポートフォリオなど、実用的な場面で造形要素や構成美を生かすことができるようになる。		美しいとは何でしょうか？	○	○	○
	10							
	11	テーマ別課題② 自分のテーマに応じた課題を設定し、制作に取り組む。	・自身の主題を生成し、素材や技法を選択して、表現を追求する		・作品について(主題、素材、技法)説明してください。		○	○
	12							
第3学期	1							
	2							
	3							

※行事等で変更になる場合があります。